

5. TDM施策の実施状況

※TDMとは、交通(transportation)需要(demand)管理(management)の頭文字で、一般的には「交通需要マネジメント」と訳されています。交通渋滞を緩和するための手法の中で、「車の利用者に対して、車や道路の利用方法の変更や工夫を促す手法」がTDMです。

■ゴールデンウィークの対策実施概要

I. 「経路分散」施策の実施概要



▼「経路分散」実施概要

■横断幕・立て看板・HP・新聞広告による周知		
横断幕	設置箇所	4箇所 (①杣山第一橋、②杣山第二橋、③シッチ原橋、④志那田原橋)
立て看板	設置箇所	12箇所(宜野座IC～仲尾次(北)交差点)
HP	掲載箇所	2箇所(北部国道事務所HP、海洋博記念公園HP)
新聞広告	新聞社	2社(琉球新報、沖縄タイムス)
	広告実施日	R6.5.2(木)

北部地域には**宜野座IC**からも行けます。



▲設置した横断幕



▲設置した立て看板

◀迂回ルート及び横断幕・立て看板設置箇所

Ⅱ. 「時間分散」施策の実施概要



トピックス GWの北部地域は、渋滞遭遇率高し!

ゴールデンウィークの移動は早めに出発して渋滞する時間帯を回避しよう!

春の沖縄は行楽シーズン真っ盛り。特にGWの北部地域は、各地で混雑が予想されます。

でも渋滞する時間帯を避けて出発すれば、スイスイ度UP! 渋滞・混雑をうまく回避し、快適なドライブを楽しんでください。

／ 渋滞を避けるヒント！ ／



ほっこくやんばるロードネット(道路情報誌「アシナビ」)について
道路情報誌「アシナビ」アンケート実施中!
<http://www.dc.pgb.go.jp/hokkoku/asinavi/index.html>

【北部地域交通円滑化WG】 国部村、東村、大宜味村、名護市、今帰仁村、本部町、恩納村、宜野座村、金武町
 沖縄総合事務局開発建設部・沖縄県土木建築部・沖縄県警察本部・NEXCO西日本・北部土木事務所・北部国道事務所
 【発行】沖縄総合事務局北部国道事務所 〒905-0019沖縄県名護市大北4丁目28番34号 TEL: 0980-52-4350

▼「時間分散」実施概要

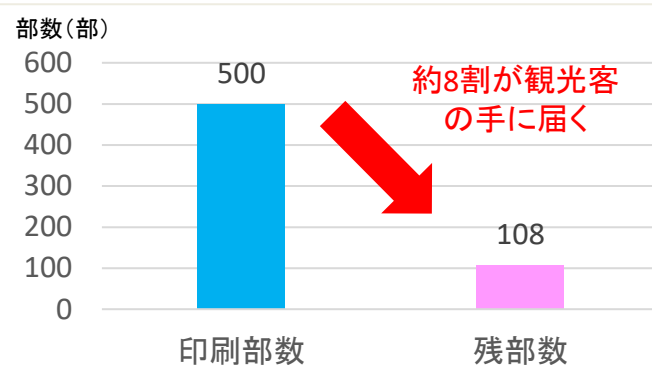
■ラジオ・チラシ(道路情報誌アシナビ)・HP・新聞広告による周知

ラジオ	ラジオ局	3局（FM、RBC、ROK）
	放送期間	R6.4.26（金）～R6.5.6（月）
	放送回数	朝タピーク時間帯（1日2回／1局）
チラシ	配布先	36箇所（那覇空港周辺レンタカー会社、道の駅、海洋博公園等）
	配布時期	R6.4.25（郵送・訪問）
HP	掲載箇所	2箇所（北部国道事務所HP、海洋博記念公園HP）
新聞広告	新聞社	2社（琉球新報、沖縄タイムス）
	広告実施日	R6.5.2（木）

＜ラジオ放送内容(約20秒/1回)＞

北部国道事務所からのお知らせです。

● 連休中は、許田IC、伊差川IC、国道58号名護市世富慶交差点で、渋滞が激しくなります。昨年は午前9時過ぎには激しい渋滞が見られたので、お出かけの時刻を早めるなど混雑しない時間帯に通過することをおすすめします！



●5/3(水)にはチラシをすべて配ることができた。

●北部地域へ行くお客さんに対して、チラシを使って説明し、問題なく「時間分散」について理解してもらえた。

(レンタカー会社の従業員)



▲アシナビー配布状況(レンタカー会社5社)

◀配布したチラシ（道路情報誌アシナビー）

■ゴールデンウィークの対策実施概要

Ⅲ.「信号現示の調整」概要



- 名護東道路(世富慶IC～数久田IC間)開通後の観光繁忙期(ゴールデンウィーク)に交通実態調査(R4.5.3)を実施。
- 結果、「伊差川IC」、「世富慶IC」、「世富慶」、「真喜屋」、「許田」、「松田(北)」の各交差点で500m※を超える交通渋滞が発生。

- 各交差点において、交差点解析を行い、混雑の緩和が見込まれる、最適信号現示について検討を実施
- 効果が見込まれる交差点を対象に交通管理者との協議により「最適信号現示変更」による交通混雑緩和策を実施する。(効果把握も併せて実施)

※一般道路(DID地区外)での渋滞ポイント
(出典:国土交通省道路局_渋滞対策について)

【対象交差点】: 4箇所

世富慶IC交差点、世富慶交差点、
許田交差点、松田(北)交差点

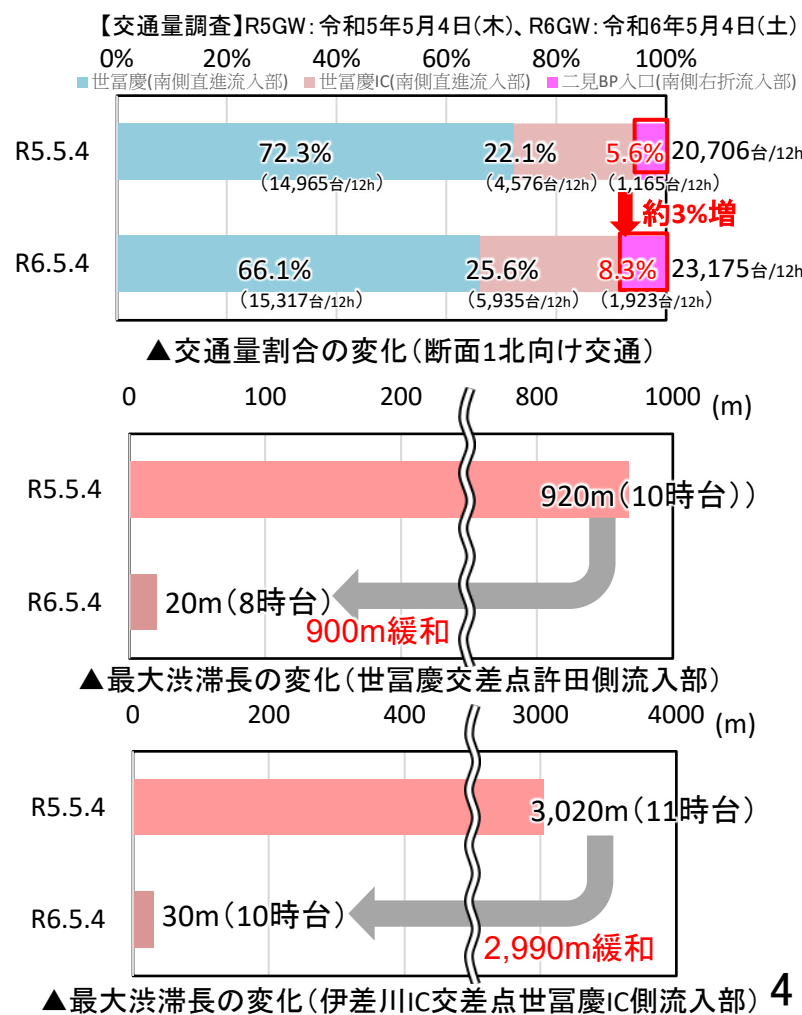
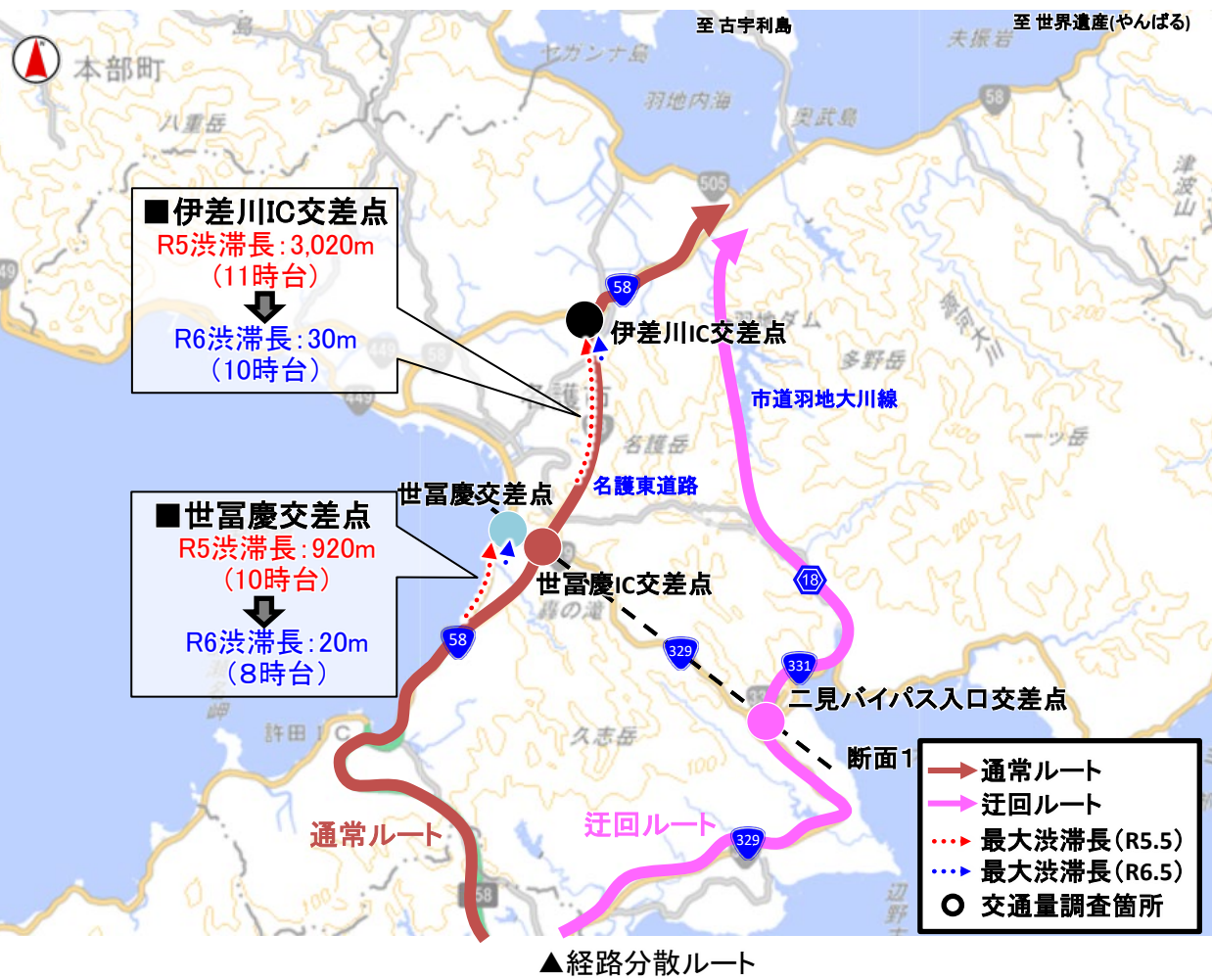
※伊差川IC交差点については、交差点改良(R6.3完)時に信号現示を調整しているため、今回は未実施

【実施期間】

令和6年4月30日(火)～5月6日(月)
(ゴールデンウィーク期間)

■ゴールデンウィークの対策実施結果
Ⅰ.「経路分散」施策実施による効果検証

- ・断面1を通過する北向け交通のうち、迂回ルートを通る交通割合がR5より**約3%増加⇒一定の効果を確認**
- ・世富慶交差点における最大渋滞長がR5年より**約0.9km緩和⇒一定の効果を確認**
- ・名護東道路において伊差川IC交差点を先頭とした渋滞がR5年より**約3.0km緩和⇒一定の効果を確認**

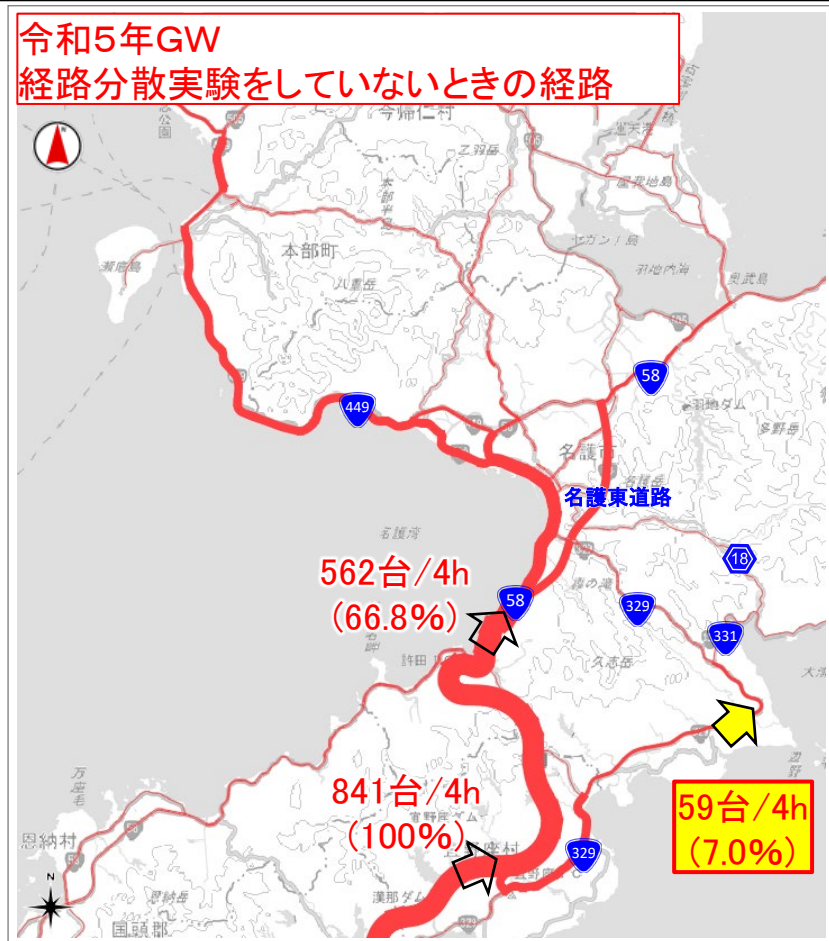


■ゴールデンウィークの対策実施結果

I. 「経路分散」施策実施による効果検証

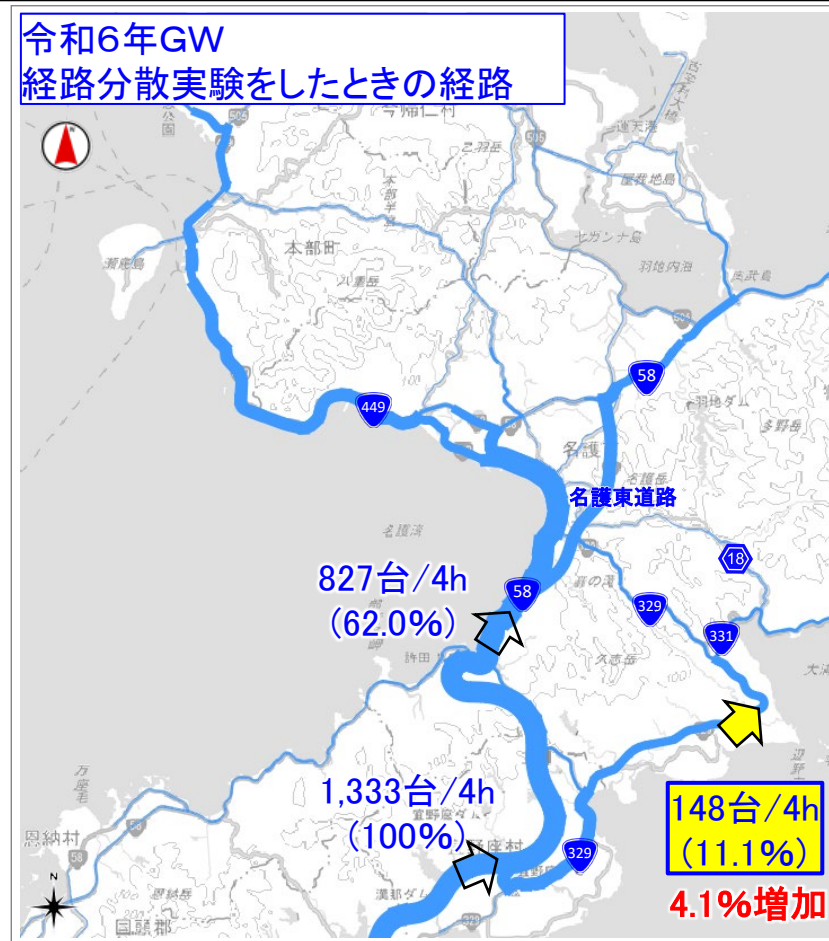
○ETC2.0データを用いた沖縄自動車道を利用する交通の経路分析

- ・経路分散を行っていないR5年GWに比べ、経路分散を実施したR6年GWは迂回ルート(宜野座IC⇒国道329号ルート)が**約4%増加した。⇒一定の効果を確認**



データ:ETC2.0様式2-1_R5.5.3~5の9・10・11・12時台

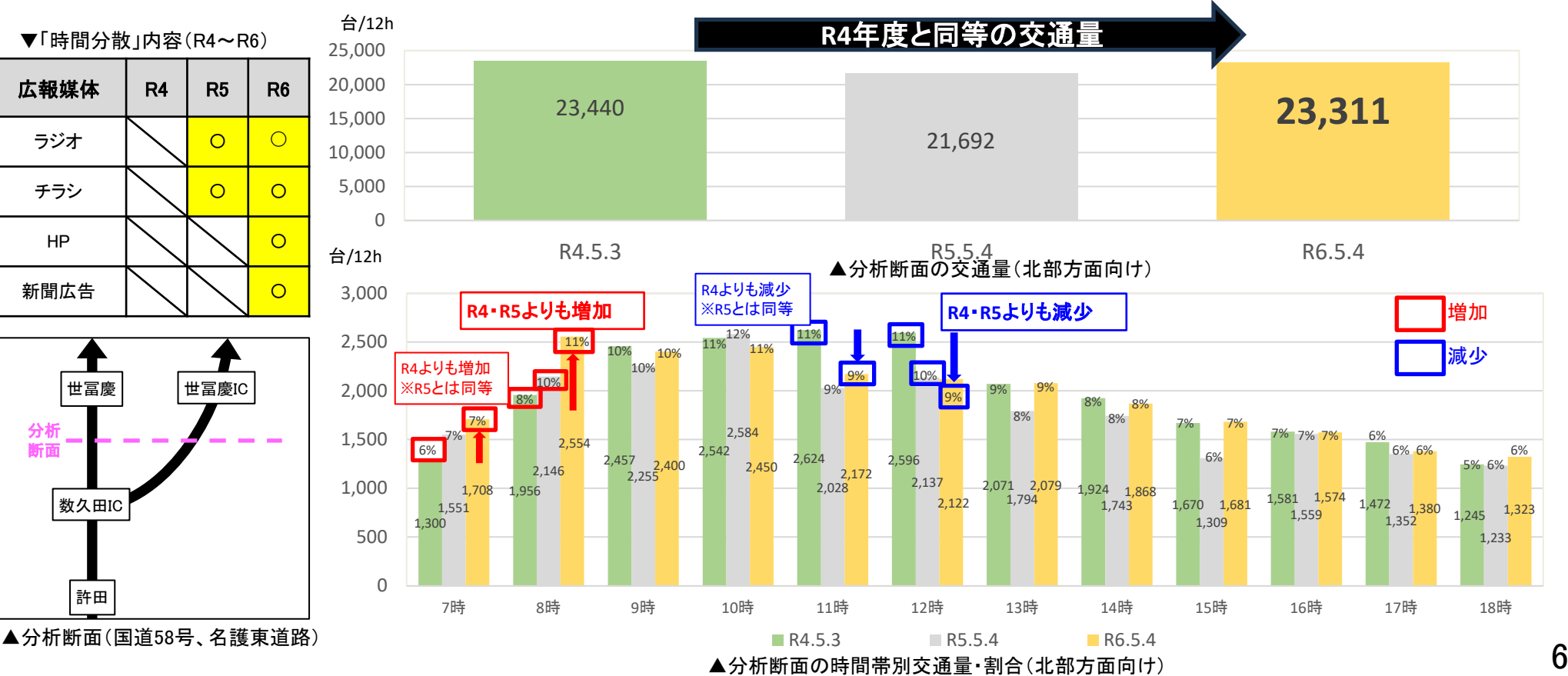
実験
効果



データ:ETC2.0様式2-1R6.5.3~5の9・10・11・12時台
※速報値

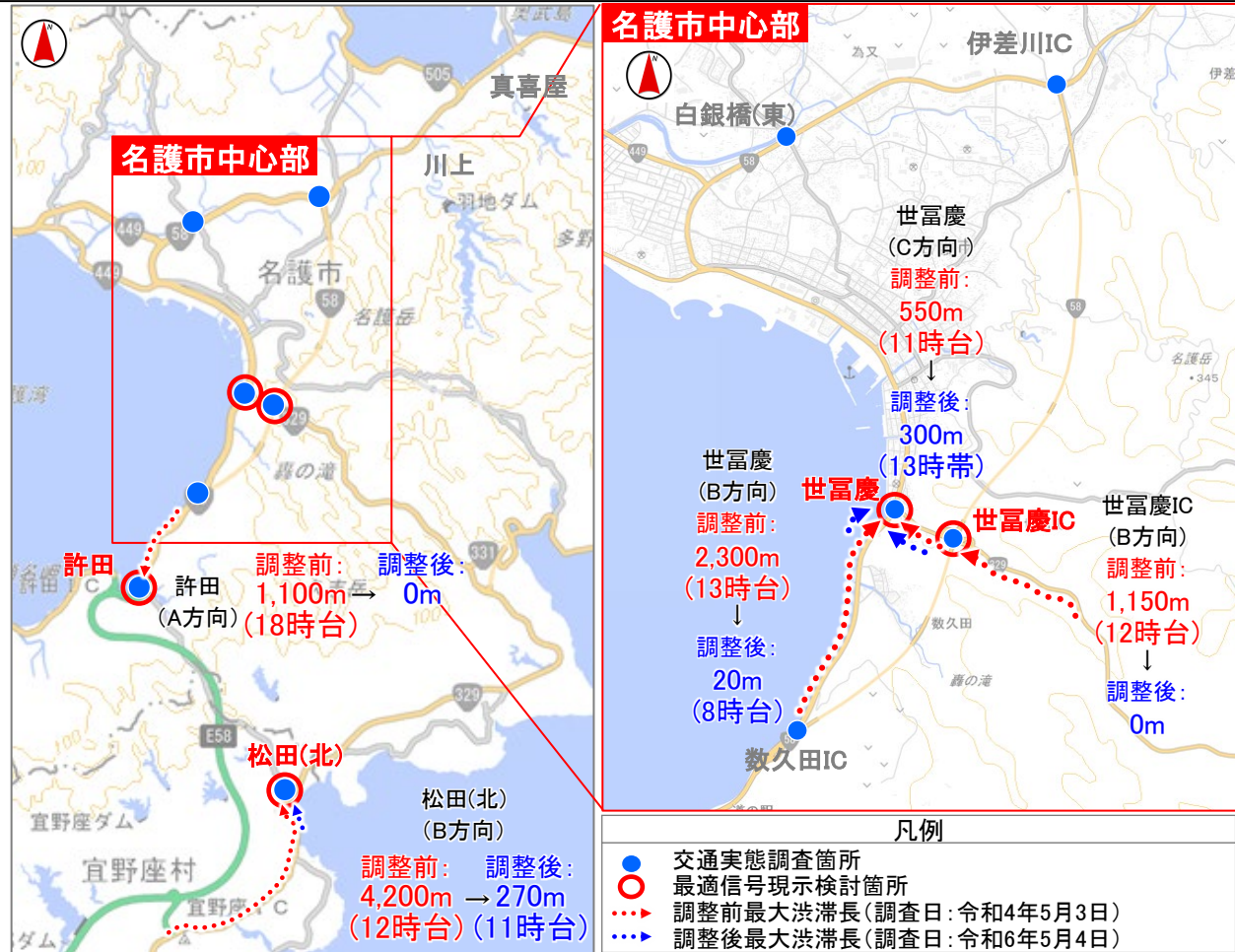
■ゴールデンウィークの対策実施結果
II. 「時間分散」施策実施による効果検証

- R6とR4(時間分散施策無し)の比較
 - ・北部方面向け交通について、7時台～8時台の時間帯別交通量割合がR4年より約1～3%増加⇒一定の効果を確認
 - ・北部方面向け交通について、11時台～12時台の時間帯別交通量割合がR4年より約2%減少⇒一定の効果を確認
- R6とR5(ラジオ・チラシによる時間分散施策有り)の比較
 - ・北部方面向け交通について、R5のときと比べても、8時台で時間帯別交通量割合が約1%増加し、12時台で交通量割合が約1%減少した。⇒広報媒体が増えることで、「時間分散」の効果が増加



■ゴールデンウィークの対策実施結果
Ⅲ. 「信号現示の調整」実施による効果検証

- 世富慶交差点において、最大渋滞長が大幅に緩和(B方向:2,300m→20m、C方向:550m→300m)⇒一定の効果を確認
- 世富慶IC交差点において、最大渋滞長が大幅に緩和(B方向:1,150m→0m)⇒一定の効果を確認
- 許田交差点において、最大渋滞長が大幅に緩和(A方向:1,100m→0m)⇒一定の効果を確認
- 松田(北)交差点において、最大渋滞長が大幅に緩和(B方向:4,200m→270m)⇒一定の効果を確認



交差点名	渋滞方向	信号現示調整時間帯	最大渋滞長(m) (07:00~19:00)			信号現示調整効果 (最大渋滞長増減) ※R4とR6の比較
			調整前 (R4.5.3)	調整後 (R5.5.4)	調整後 (R6.5.4)	
世富慶	B方向 国道58号: 至 許田	10:00~ 15:00	2,300 (13時台)	920 (10時台)	20 (8時台)	緩和 (約10割減)
	C方向 国道329号: 至 世富慶IC		550 (11時台)	280 (11時台)	300 (13時台)	緩和 (約5割減)
世富慶IC	B方向 国道329号: 至 二見	10:00~ 14:00	1,150 (12時台)	30 (14時台)	0	緩和 (約10割減)
許田	A方向 国道58号: 至 世富慶	16:00~	1,100 (18時台)	170 (18時台)	0	緩和 (約10割減)
松田(北)	B方向 国道329号: 至 宜野座	10:00~ 14:00	4,200 (12時台)	20 (12時台)	270 (11時台)	緩和 (約9割減)

※信号現示調整は調整時間帯以外でも交通状況に影響を及ぼすため全時間帯で比較。